

たんぼば訪問看護ステーションから紹介します。

Nさんはいろいろな材料を使用してベッドの柵や物入れ、棚を作っています。

HOT 導入してからカヌラやマスクを交互に使用していましたがカヌラにより耳が痛くなることに悩んでいました。



そんな Nさんは試行錯誤した結果・・・

このようになりました！

耳にかからないようにマスクの紐 2本を使用し固定しています。



「見た目」にも気を遣っています。

カヌラによる耳介部の潰瘍ができやすいため、病棟では長期間酸素を使用する患者さんにはガーゼなどを巻いて予防していましたが、外見上嫌がる患者さんが多くいました。

Nさんがつくったカヌラサポーターなら外見も改善され耳介部の潰瘍も予防することができるのではないのでしょうか。

ものづくりしているNさんはとても生き生きしていて素敵です！
他にも素晴らしい作品があるのでその一部をご紹介します。



🏠 作品その1
「洗濯ものが飛ばされない物干し」
ハンガーを1本ずつ通して固定されます。



🏠 作品その2 「重い荷物をしまえる丈夫な棚」
大きなラックには底板に鉄板を張って強度を高めています。
栄養補助食品が山積みでもまったくゆがみなし。

そして、みてください。手前の「折り畳み椅子収納」
訪問職員が座る椅子を収納箱も手作りなのです！ うれしいです 三



一本一本ねじで製作することで、解体しやすく、好みに応じてカスタマイズしやすくしているのだとか。

病棟では気づかなかった在宅ならではの工夫を発見することができました。

病棟から異動して2年目の看護師Hよりお送りしました👏

2021年9月8日